学校番号	３２０

令和２年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「高校美術1」　（日本文教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・感じ取ったことから表現する「絵画・彫刻」、目的や機能から考える「デザイン」、感じ取ったこと・目的や機能から考える「映像メディア表現」と「鑑賞」の分野について学習します。

・一人ひとり、思いや見方、感じ方が違います。表現形式の特性や形体・色彩などに着目して、自分なりの感じ方や見方、表現を深めていきましょう。違った見方を「鑑賞」で共有すると、見方や感じ方表現力が広がったり深まったりします、自身の表現力を伸ばしましょう。

2　学習の到達目標

美術の幅広い活動を通して、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	制作の姿勢 レポート	アイデアスケッチ 制作途中の作品 レポート	制作途中の作品 用具の使い方 完成作品	鑑賞活動やグループワークの発言内容

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	オリエンテーション　鉛筆	1年間の授業概要、用具について理解する。 鉛筆基礎練習　線を引く	○	○	○	○	a 意欲的に取り組んでいるか、b鉛筆の機能役割を考えるc用具を正しく使いこなせているか d引いた線を観察する。	提出課題の評価 制作態度意欲 レポートの評価
	鉛筆デッサン	手の表情を観察し、明暗に着目して表現する。	○	○	○	○	a 対象への観察を十分に行っているかb適切な構成を考え形状や変化を感じ取れているかc立体的に表現するため明暗を意識した描き込みの工夫を行えているかd立体的に表現できたことを確認できているか。	作品の評価 制作態度意欲 レポートの評価
	色彩構成	色彩理論と混色演習 三原色と調子(トーン)の理解 カラーチャートを使っての混色を学ぶ。 色彩構成の基礎を学ぶ。	○	○	○	○	a アクリル絵の具を使いこなし、色を自在に作ることに取り組む b 構成と配色を学び美しいと感じる配色表現を行うc絵の具の特性を理解し正しく使いこなすd配色の効果を理解しその美しさを感じ取ることができているか。	取り組みの意欲 制作態度 レポートの評価 作品の評価
	鑑賞	高校展等展覧会を見て鑑賞レポートを提出する。	○			○	a 美術館へ足を運び作品を鑑賞するd作品を鑑賞し作品のよさや美しさ作者の思いを感じ、伝えることができるか。	レポートの評価
2学期	デザイン	文字のデザイン 明朝体、ゴシック体を学ぶ	○	○	○	○	a文字のﾃﾞｻﾞｲﾝのおもしろさを知るb特徴を理解する。c絵の具で着色d2文字の違いを感じ取る。	取り組みの意欲 作品の評価 レポートの評価
	消しゴムはんこによるパターン模様制作	文字をデザインする はんこ（凸版）を彫る パターン模様を学ぶ	○	○	○	○	a 文字のデザインについて意欲的に学べているか。bアイデアスケッチから文字をデザインする。cはんこの特性の理解、用具の使い方。 d組み合わせや繰り返しによりうまれる模様の美しさを発見できたか。	取り組みの意欲 作品の評価 制作態度 レポートの評価

	チ 顔のスケッ	表情に着目して　自分の顔をスケッチする。	○	○	○	○	a対象を観察する姿勢 b特徴をつかむ力　c鉛筆による表現力d作品への自身の評価	取り組みの意欲 レポートの評価 作品の評価
	顔のイラストレーション	スケッチを基にカラードテープを使って「笑」「泣」「怒」を表現する。 アイデアスケッチ ペーパークラフトの技法 配色計画	○	○	○	○	a表情の表現に取り組む。bカラードテープの特性を理解し用具を使いこなして制作する。c。「笑」「泣」「怒」をイメージする、配色を意識して表現の工夫を行う。dさまざまな方向から作品を観察し評価する。	取り組みの意欲 作品の評価 制作態度 レポートの評価
	年賀状作り	年賀状作り 　干支を学び年賀状を制作する 　絵と文字と数字を構成して何がはがきを	○	○	○	○	a送る相手をイメージする。b絵と文字と数字の構成、配色を意識してデザインする。c用具の特性を理解して制作する。d相手に喜ばれるものになったか。	取り組みの意欲 作品の評価 制作態度 レポートの評価
	アクリル画制作「静物画」	モチーフを配置し、画面上で適切な構図を考え、色彩やマチエールの工夫をして「静物画」を描く。 重ね塗りに挑戦する。	○	○	○	○	a重ね塗りの美しさに興味関心を持つ。bモチーフの形や明暗を理解して画面を構成する。c助剤を使い重ね塗りによるマイエールの表現、混色の工夫を行う。d自身の作品、他者の作品の魅力を発見する。	取り組みの意欲 作品の評価 制作態度 提出課題の評価 レポートの評価

※　表中の観点について　a:美術への関心・意欲・態度　b:発想や構想の能力
c:創造的な技能　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。